

令和6年12月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年12月24日（火） 15時00分～16時30分
2. 開催場所 西桜谷公民館 研修室
3. 出席委員 安田 寛次教育長
本居 節子委員、吉澤 松美委員、村井 優子委員、川原 正志委員
4. 出席事務局員 教 育 次 長：正木 博之
学 校 教 育 課：主席参事 山中 博嗣
専 門 員 山添 和敏
生涯学習課：課長 加納 治夫
図 書 館：館長 平松 久明
子ども支援課：課長 森 弘一郎

安田 教育長	日程1 開会 それでは、12月定例会をこれから始めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。 本日の定例会を議事日程に基づいて進行していきます。 ~~~~~
安田 教育長	日程2 教育長あいさつ (教育長あいさつ) ~~~~~
安田 教育長	日程3 前回議事録の報告 日程3 前回議事録の報告につきましては、お手元に配付の議事録のとおりでございます。委員各位においてご覧いただき、異なるところがありましたら事務局までご連絡をお願いしたいと思います。 ~~~~~
安田 教育長	日程4 経過報告 続きまして、日程4の経過報告に移りたいと思います。 (経過報告)
安田 教育長	ただいまの経過報告につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたらお出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

本居 委員	本居委員。 不登校の資料を拝見して、新規のところでは日野小が4人、必佐小が2人、日野中が6人となっているので、どういうふうなことで増えたのか気になるところです。 クラスの中の感じ方としては、もう休むのが当たり前というか、不自然でないというか、普通に、病気でなくても用事があるわけでもなく、何となく休んだことも休みの1つだというふうに、当たり前のような感覚になっているのではないのでしょうか。 参観で見に行かせていただいた時も、席が空いていても子どもたちの中ではそんなに、来てない子がいることが不思議ではないという感覚になってしまっていて、休みの子がいたねという話を子どもたちにしても、いつものことだよという感じが常態化しているというのも、考えていかなければいけないところではないかと思います。 やはり学校に来るのが楽しいと思えることが一番の元になると思いますので、勉強したくないというか、学校へ勉強しに行くことが楽しいと思っている子はそんなにたくさんいるわけではないと思うので、やはり何か「楽しい」と思えるようなことを見つけられるようになればいいのかな、何となく学校へ行きたくないな、今日は休みたいなと思った時に、何かがあればいいのかなと思います。
山中主席参事	今、お話を聞かせてもらって、本居委員のおっしゃるとおりだなと思います。子どもにとってたくさん休んでいても、それが普通の感覚になっていくというのは怖いところだと思いますし、そこを何とかしたいなということで、まずは学校が魅力的なところであるということが大事かなと思います。 そのために、やはりまず1つは授業が大事だろうなと思います。授業に参加していて、何か1つでもわかったとか、前よりも上手になったとか、そういうふうなことが、授業がわかることが楽しい授業につながっていく、学力不振に陥らない授業が1つ大事だなと思うのと、集団生活をしているので、仲間に支えられているというか、学校や教室に居場所があって、自分の意見が認められるとか、仲間に支えてくれるとか、この2つのことが非常に大事だなと思います。 それが安心感につながって学校へ来るので、そういうところを進めていくとともに、不登校の状態になっている子については、どこかをつないでいくというか、支援をしていくことが、すぐにはなかなか、つない

安田 教育長	だらすぐに復帰できるかというそうではないのですが、きちんと把握してつないでいて、支援を続けていくことが大事かなと思っています。 ありがとうございます。新規のケースをもう1回きちんと分析して、アセスをしながら、どこかにつながっているかどうかというところがポイントかなと思いますし、新規が生まれないように、前からも言っていますが、4つの要因ということで、勉強がわかるようになりたいということ、先生とのつながり、友だちとのつながり、集団への所属意識という、4つの要素があるのではないかと思います。どれか1つでもできていったら学校につながってくるのではないかと思いますので、その辺のことを現場と連携して進めていきたいと思っています。 よろしいでしょうか。 (なし)
安田 教育長	それでは、進めさせていただきます。ほかにご意見、ご質問ないようでございますので、日程5の議事に入らせていただきたいと思います。 ~~~~~
安田 教育長	日程5 議第38号 日野町立保育園預かり保育モデル事業実施要綱の一部改正について 「議第38号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部改正について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。 (提案説明)
安田 教育長	というような提案でございますけれども、ご意見、ご質問をお寄せいただきたいと思います。いかがでしょうか。村井委員。
村井 委員	先ほど桜谷こども園を見学させていただいて、園長先生のお話を伺いますと、通常は午後4時に帰られて、延長保育の人は午後6時半までというふうに聞いていたのですけれども、そういうふうにするためにシフトを組むのが大変だというお話を伺ったところですので、保育時間が1時間延びることに対して、現場ではどういう声があがっていますか。

森子ども支援課長	今現在も、日野幼稚園と必佐幼稚園の2つの園につきましては預かり保育を実施させてもらっていきまして、必佐幼稚園は午後6時までの時間で対応しています。 預かり保育につきましては、預かり保育専任の先生を配置すると同時に、会計年度任用職員で対応できる方を2～3人配置して、これまでも対応させてもらっていました。 日野幼稚園につきましても、今まで午後4時半までだったのですが、預かり保育主任が1人と、会計年度職員1人～2人で対応してもらっていたのですが、午後4時半から5時半にする中でも、午後5時半までの間ですと、勤務体制としては今の状況と変わらず対応ができるということも今回話し合いさせてもらいまして、実際のところ、預かり保育主任がしっかり管理できていますので、職員対応できるということも確認したうえで、特に大きく人員配置に影響はないということで、そういう状況で対応したいと思っております。
安田 教育長	よろしいでしょうか。本居委員。
本居 委員	午後4時半から5時半に変わるということで、必佐幼稚園については午後6時までになっているのですが、日野幼稚園だけは午後5時半という、要綱を変えるタイミングで日野幼稚園も午後6時に合わせるということにはならなかったのかなと、そこがひとつ疑問に思います。 今現在、午後4時半でお迎えしている状況の中で、時々聞くのは、4時半に間に合わなくて、保護者の方は午後4時半に迎えに行かないといけなければならないけれども行けなくて、延びて、延びてということで園の方もご苦労されているという話は聞きますので、午後5時半に延びることは構わないのですが、例えば今まで午後4時半で間に合っていた方がほとんどだと思ってしまうのですが、そういった方も今後5時半に合わせてお迎えに行くことになるのか。降園時間が午後4時半から5時半までの時間内にバラバラと迎えに来られると、先生方も余計に勤務的には煩雑になるのかなという感じもするのですが、園によって時間が違うというのも何か特別な理由があるのか、その辺も気になるところです。
森子ども支援課長	最初のご質問の「必佐幼稚園は午後6時まで、日野幼稚園は午後5時半まで、同じにならなかったのか」ということですが、必要最小限の時間配分ということを思っておりまして、職員の勤務時間の関係もありますけれども、当初は午後5時で設定をしようかと考えたりもした

	のですけれども、やはり勤務時間の関係、「午後 5 時まで勤務」ということがありまして、そこの受け入れを日野幼稚園でも午後 5 時半までにすると、より多くの方を受け入れできる、日野幼稚園に回っていただけるということもありましたので、今回は最低限ということで、午後 6 時までに合わさずに午後 5 時半までにさせてもらいました。 ただ今後、来年度から小規模園の『みらいしゃくなげ園』でも小規模保育が始まりまして、そことの連携、3 歳児受け入れの連携も、来年度は 1・2 歳児だけなんですけれども、再来年度はその子たちが 3 歳児になると、また公立の方へ来られますので、さらに再来年度については時間延長をしていかないといけないのかなと園長会などでも話をさせてもらっております。
本居 委員	午後 4 時半から 5 時半までの降園で、途中降園できるかどうか。
森子ども支援課長	今もそうなんですけど、必佐では今、午後 6 時まで開けていますが、随時、保護者が迎えに来られる時間で帰ってもらっています。一番最後が午後 6 時、日野幼稚園は午後 5 時半という形になりますので、午後 4 時半で迎えに来られる方は、変わらずいつもの時間で迎えに来てもらっていただきます。順番に帰っていかれるので、最後に 2～3 人残っているという状況も、これまでもあるのですけれども、そこはうまく対応していきたいと思います。
安田 教育長	どうせ改正するなら、必佐は午後 6 時までなのに、なぜ日野は午後 5 時半までなんですかという問いには、どう答えるのですか。
森子ども支援課長	保育ニーズが、日野幼稚園やおおぞら園を希望される方については、午後 5 時まで勤務の方々の受け入れを拡大させてもらったということです。
安田 教育長	日野幼稚園も午後 6 時まで延ばしてほしいという声もあるのですか。
森子ども支援課長	いえ、そういう方々は最初から保育所を希望されておられますので、幼稚園での延長保育では、今までの午後 4 時半までという決まりで申し込みをされておられるので、日野幼稚園で午後 6 時までというニーズはないです。

安田 教育長	よろしいですか。
正木教育次長	考え方としては、逆説的なんですけれども、本来、長時間の保育ニーズがある方は保育所を希望されて保育所に行っていました。 日野幼稚園も預かり保育がある中で、保護者のお勤めの関係で少し延長するというのが預かり保育だったのですが、このところの日野幼稚園のニーズとしては、午後6時までのニーズはないけども、午後5時半までにすることによって、日野幼稚園で受け入れられる数がある程度確保できる、午後5時以降少し延ばされる方は日野幼稚園の預かりへ回っていただけなので、今まで保育園で受け入れていたものを、もういっばいの保育所へ詰め込むというところを解消するために今回の改正をしたのではないですか。どちらかと言うとそうですね。 だから、最初から午後6時ありきでするのではなくて、そうすることで、保育園のニーズがいくつかある中で、数人こちらでも過ごしていただけるので、そうすると保育園での待機児童が出ずに済むということで今回午後5時30分までにしたということですね。
森子ども支援課長	そのとおりでございます。保育園のニーズから、日野幼稚園での預かり拡大で、待機児童が少しでも防げるというようなことです。
安田 教育長	村井委員。
村井 委員	日野幼稚園、日野町立幼稚園と書いてありますが、これはいつからのことですか。来年度からですか。
森子ども支援課長	来年度からです。今、町立幼稚園の預かり保育事業というのは、日野幼稚園と必佐幼稚園の2か所で実施しているので、今回、日野幼稚園の時間を改正します。
村井 委員	日野幼稚園も必佐幼稚園もそのようにされるのですか。
正木教育次長	13ページを見ていただきますと、今回の改正の要綱で加筆してあるところは下線が引いてあります。第5条を見ていただきますと、「日野幼稚園については、午後5時30分までとし、」という、これが今まで午後4時30分だったのを午後5時30分までとし、「必佐幼稚園については、午前7時30分から午後6時までとする」という、これが日野幼

森子ども支援課長	稚園の預かり保育のモデル事業の要綱で、具体的にこの幼稚園はこういうふうにしますというふうに今回改正しているということです。 日野幼稚園のみです。今回は。
村井 委員	「日野町立幼稚園」と書いてあるから、どちらのことなのかなと思いました。
森子ども支援課長	今、次長が申しましたように、第5条中の日野幼稚園の部分を改正させていただきます。
村井 委員	それなら、日野幼稚園としておかないといけないのではないかと思います。日野町立幼稚園預かり保育モデル事業」になっているところ。
正木教育次長	13ページを見ていただくと、この要綱自体がこのタイトルになっています。ここのうちの第5条のこの部分を変えるということです。
村井 委員	第5条のこの部分を変えるということですね、わかりました。
森子ども支援課長	要綱の名前です。
安田 教育長	令和7年4月1日から施行ということでの提案です。よろしいでしょうか。 (なし)
安田 教育長	そうしましたら、ほかにご意見、ご質問ないようでございますので、今の提案について承認するというところでよろしいでしょうか。 (異議なし)
安田 教育長	ありがとうございます。それでは、「議第38号 日野町立幼稚園預かり保育モデル事業実施要綱の一部改正について」を承認することとします。 ~~~~~

	日程5 議第36号 平成6年度日野町一般会計補正予算（第7号） （教育費）について
安田 教育長	次に、「議第39号 令和6年度日野町一般会計補正予算（第8号）（教育費）について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。 （提案説明）
安田 教育長	ということでございます。今日お認めいただきましたら、明日また議会でご承認いただくことになります。見ていただいて、ご質問などありましたらお出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 午前中も来年度の予算査定を町長も交えて行っていたのですが、なかなか財政事情が大変厳しい状況がやってきた中、こういう人事院勧告、上げてもらえるのは大変ありがたいのですが、人件費が占める率が大変高いという状況です。 よろしいでしょうか。 （なし）
安田 教育長	そうしたら、ないようでございますので、承認するというところでよろしいでしょうか。 （異議なし）
安田 教育長	ありがとうございます。それでは、「議第39号 令和6年度日野町一般会計補正予算（第8号）（教育費）について」を承認することとします。 ~~~~~ 日程6 今後の予定
安田 教育長	続きまして、「日程6 今後の予定」について、学校教育課から順次説明をお願いしたいと思います。 （説明）
安田 教育長	ひとつお説明をしてもらいましたが、皆さんからご質問などありましたらお出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

吉澤 委員	吉澤委員。 今後の予定で学校教育課からご説明いただきましたが、1月20日（月）の南山大学より訪問と書いていますが、具体的にどんなことをされるのでしょうか。
山中主席参事	今、日野町で進めているポジティブ行動支援に関わって、大学の教授に日野小学校へお越しいただいて、5時間目と6時間目の2時間、全校の授業を参観していただいて、P B I S、魅力ある学校づくりにかわるご指導をいただくということで、訪問を受けるということです。
吉澤 委員	大学の先生が来られるのですか、学生さんではなくて。
山中主席参事	はい、そうです。
吉澤 委員	わかりました。
安田 教育長	ほか、どうでしょうか。川原委員。
川原 委員	学校教育課で、1月20日（月）～24日（金）まで「給食感謝週間」が設けられているのですけれども、具体的にどういうことをされるのでしょうか。
山中主席参事	給食でお世話になっている調理師・栄養教諭・栄養士等に、つくっていただく給食に感謝する気持ちは普段から持っていることは大事ですけれども、特にこの1月下旬に給食感謝週間を設定しておりまして、各学校でいろいろな取り組みをします。 調理師さんに直接お手紙を書いて渡すという学校もありますし、給食委員会が中心になって給食に関するクイズをしたり、調理員さんの仕事を校内放送で紹介したりするとか、また手作りのプレートを学級でつくったりして直接調理員さんにお渡しするのを校内放送で放送したりするなど、各学校で工夫しながら、給食を食べられることや、お世話になっている方に感謝をする取り組みをする1週間です。
川原 委員	わかりました。

安田 教育長	国全体で「全国学校給食週間」として、１月２４日から１月３０日までという日取りが決められておりまして、日野町は２０日からの週にするということで、様々な取り組みを展開してくれております。 よろしいでしょうか。 (なし)
安田 教育長	それでは、ないようですので、次に進めていきます。 ~~~~~
安田 教育長	日程 ７ その他 日程 ７ のその他に移ります。 (説明) ~~~~~
安田 教育長	日程 ８ 閉会 それでは、これで１２月定例会を終了させていただきます。大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。 (閉会)